

フェスティバル・ランタンポルル FESTIVAL DE L'INTEMPOREL



CLASSIC

CONTEMPORARY

2024年
(令和6年)

11.27 WED-
12.1 SUN

東京文化会館
小ホール

Tokyo
Bunka Kaikan
Recital Hall

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

新しい音楽祭へようこそ

古典音楽と現代音楽のクロスオーバー

ランタンポレル L'intemporel とは、「時を超えた、非時間的な」という意味を持つフランス語です。要は特定の時代にこだわらないということですが、これを音楽の世界に置いてみるとどうなるでしょう。現在の音楽祭には大雑把に言って2つの傾向が見られます。現代音楽の音楽祭は、ますます専門化して一般の聴衆には近寄り難くなっています。一方で古典音楽のそれは限定された名曲を繰り返し演奏しているだけのものです。そしてこの2つにはまったく交わる点がありません。

この音楽祭では、こうした現状を打開すべく、2つの「ランタンポレル」を考えました。1つは現代に活躍する作曲家と、歴史上著名な作曲家のペアによるコンサート、もう1つは20世紀初頭の無声映画の名作に、現在活躍する作曲家が音楽を付けたシネマ・コンサートです。前者にはニームのレ・ヴォルク音楽祭、後者にはIRCAM (ポンピドゥー・センターフランス国立音響音楽研究所) と全面的に提携しています。

古典音楽の演奏も一捻り、レ・ヴォルク音楽祭の主要メンバーはピリオド楽器のオーケストラとして知られているレ・シエクルの楽員たち。彼らは作曲家の時代にあわせた楽器の響きで、古典の楽器から現代の楽器までを自由に操ります。ピアノのリサイタルについても、1人が古典作品でのフォルテピアノと現代作品における現代ピアノを使い分けて演奏します。

フェスティヴァル第1回にあたる今年度は、レ・ヴォルク音楽祭の過去のプログラムから、ベートーヴェンとフィリップ・マヌリ、シューベルトとヘルムート・ラッヘンマンを取り上げます。この2人ずつの組み合わせに2回の室内楽コンサートと2回のピアノ・リサイタルがあり、フランスからお招きするレ・ヴォルク弦楽三重奏団と東京文化会館に縁の深い日本の演奏家たちが共演します。またピアノ・リサイタルには、今最も旬の若手ピアニストである阪田知樹さんと務川慧悟さんをお迎えします。

シネマ・コンサートでは川端康成原作、衣笠貞之助監督による無声映画「狂った一頁」と、パリで活躍する日本人作曲家平野真由とのIRCAMの最新音響を使った出会いをお楽しみいただきます。またナビゲーターとして沼野雄司氏が参加、解題を行います。

フランスからご招待するレ・ヴォルク弦楽三重奏団のマスタークラス、またその中心人物で音楽祭の音楽監督を務めるヴィオラのキャロル・ロト=ドファン、作曲家フィリップ・マヌリとのトークセッション等教育プログラムも充実しています。

ぜひこのレ・ヴォルク音楽祭・IRCAMと東京文化会館との緊密なコラボレーション「ランタンポレル」をお楽しみください。これまで存在しなかった一味違った音楽祭となること、請け合いです。

東京文化会館音楽監督 野平一郎



野平一郎 NODAIRA Ichiro

1953年生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程作曲科を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲・ピアノ・指揮・プロデューズ・教育など多方面にわたる活動をおこなう。ピアニストとしては内外のオーケストラにソリストとして出演する一方、多くの内外の名手たちと共演し、室内楽奏者としても活躍。古典から現代までそのレパートリーは幅広い。近年はコンチェルトの弾き振りや、自作自演を含めた指揮活動も多い。140曲に及ぶ作品の中には、フランス文化庁、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、IRCAM、国立劇場等国内外からの委嘱作品があり、いずれの作品も圧倒的な成功を取った。また、100枚をこすCDをリリースしている。第13回中島健蔵音楽賞(1995)、第44回、第61回尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞(1996)、第35回サントリー音楽賞(2004)、第55回芸術選奨文部科学大臣賞(2005)、日本芸術院賞(2018)を受賞。2012年春、紫綬褒章を受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学作曲科教授。芥川也寸志メモリアル・オーケストラ・ニッポンカ ミュージカル・アドヴァイザー。日本フォーレ協会会長。日本ベートーヴェンクライス代表理事。2021年より3年間、モナコ・ピエール皇太子財団音楽評議員を務める。2022年開催仙台国際音楽コンクールのピアノ部門審査委員長。



©Tomoko Hidaki

フィリップ・マヌリ Philippe MANOURY

1952年フランスのチュールに生まれ、現在フランスで最も重要な作曲家の1人である。ブーレーズ、シュトックハウゼン、クセナキスといった戦後の西欧音楽を主導した作曲家の思想や技術を受け継ぎ、その大規模な作品における緻密な書式で当初より注目を浴びてきた。また創作の初期から電子音響やコンピュータに着目し、特にIRCAMにおいてミラー・パケットと協力して開発したMAXを使った4連作「ソヌス・エクス・マキナ」で、コンピュータを用いて伝統的な楽器をリアルタイムに拡張することに成功した。また2004年からはサン・ディエゴのカリフォルニア大学サンディエゴ校で教鞭をとり、再びミラー・パケットが開発したプログラム言語 Pure Dataを展開する複数の作品を制作した。オペラ分野でも多くの作品を残し、その中には電子音響技術を用いる「緯度60度」、また東日本大震災や原発事故をえがいたイェリネクを原作とする「光なし」などを作曲している。近年では「ケルン三部作」などのオーケストラ作品を通じて、管弦楽配置の変化による実験を重ねている。70歳を越えてますます旺盛な創作を続ける。(野平一郎)

プラチナ・シリーズ第2回

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 et 上野由恵 (フルート)

Platinum Series Vol.2

Les Volques String Trio et UENO Yoshie (Flute)

11.27[水] 19:00開演 (18:30開場) Wed, Nov 27, 19:00 (Open 18:30)

出演 Artists

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 Les Volques String Trio



ヴァイオリン
オード・ペラン=デュロー
Violin
Aude PÉRIN-DUREAU



ヴィオラ
キャロル・ロト=ドファン
Viola
Carole ROTH-DAUPHIN



チェロ
ロビン・マイケル
Cello
Robin MICHAEL



アルトフルート
上野由恵*
Alto Flute
UENO Yoshie*



エレクトロニクス
今井慎太郎
Electronics
IMAI Shintaro

サウンド・ミキシング フィリップ・マヌリ
Sound Mixing Philippe MANOURY

ナビゲーター 沼野雄司 (音楽学者)
Presenter NUMANO Yuji (Musicologist)

曲目 Program

フィリップ・マヌリ -- Silo アルトフルートとヴィオラのための (2012)
フィリップ・マヌリ -- ジェスチャー 弦楽三重奏のための8楽章 (1992)
ベートーヴェン 弦楽三重奏曲 ハ短調 Op.9-3 (ピリオド楽器による演奏)
フィリップ・マヌリ -- パルティータI ヴィオラとエレクトロニクスのための (2006)
※曲順は変更になる場合がございます。

Philippe MANOURY -- Silo for Alto Flute and Viola (2012)
Philippe MANOURY -- Gestes for String Trio (1992)
BEETHOVEN String Trio in c minor, Op.9-3 (with period instruments)
Philippe MANOURY -- Partita I for Viola and Electronics (2006)
* The performance order is subject to change.

シャイニング・シリーズVol.16

阪田知樹ピアノ・リサイタル

Shining Series: Vol.16

SAKATA Tomoki Piano Recital

11.28[木] 19:00開演 (18:30開場) 予定公演時間：約75分
Thu, Nov 28, 19:00 (Open 18:30)
Approximate running time: 75 minutes

曲目 Program

フィリップ・マヌリ -- 第2ソナタ「変奏曲」(2008)
ベートーヴェン ディアベリのワルツの主題による
33の変奏曲 ハ長調「ディアベリ変奏曲」Op.120

Philippe MANOURY -- Veränderungen, second piano sonata (2008)
BEETHOVEN 33 Variations on a Waltz
by Diabelli in C major, Op.120

出演 Artist

ピアノ / フォルテピアノ
阪田知樹
Piano and Fortepiano
SAKATA Tomoki



©Ayuset



ヘルムート・ラッヘンマン Helmut LACHENMANN

1935年シュトゥットガルトの生まれ。20世紀後半に現代音楽の世界で最も指導的な作曲家の1人であり、いまだにその思想や書式が若い作曲家たちへ影響を及ぼし続けている。ノーノ、シュトックハウゼンに師事し、その影響を受けたことがラッヘンマンの創作活動において決定的な出来事となった。ポスト・ウェーベルンの様式で出発した彼は、やがて60年代後半からノイズ、伝統楽器の特殊奏法、数々の引用、また最近作では東洋思想、特に日本の「間」「沈黙」に影響を受けた独自の作風を見せるようになる。新鮮な楽器の扱いで注目を集めたチェロのための「プレシオン」、ピアノのための「グエロ」、「セリナーデ」、打楽器とオーケストラのための「エアー」をはじめ、数々のオーケストラやアンサンブル作品、弦楽四重奏曲「精霊の踊り」、「グリド」、またオペラ「マッチ売りの少女」などで知られている。（野平一郎）

シャイニング・シリーズVol.17

務川慧悟ピアノ・リサイタル

Shining Series: Vol.17

MUKAWA Keigo Piano Recital

11.30 [土] 19:00開演 (18:30開場) 予定公演時間：約75分
 Sat, Nov 30, 19:00 (Open 18:30) Approximate running time: 75 minutes

曲目 Program

ヘルムート・ラッヘンマン ... シューベルトの主題による5つの変奏曲 (1956)	Helmut LACHENMANN ... 5 Variations on a Theme of Franz Schubert (1956)
ヘルムート・ラッヘンマン ... ゆりかごの音楽 (1964)	Helmut LACHENMANN ... Wiegenmusik (1964)
ヘルムート・ラッヘンマン ... セリナーデ ピアノのための (1997/98)	Helmut LACHENMANN ... Serynade (1997/98)
シューベルト ピアノ・ソナタ第19番 短調 D958	SCHUBERT Piano Sonata No.19 in c minor, D958

出演 Artist

ピアノ / フォルテピアノ
 務川慧悟
 Piano and Fortepiano
 MUKAWA Keigo



©Yuji Ueno

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 & 東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー

Support for Emerging Musicians Global Career Development

Les Volques String Trio & Tokyo Bunka Kaikan Chamber Orchestra Members

12.1 [日] 15:00開演 (14:15開場 / 14:30プレトーク)
 Sun, Dec 1, 15:00 (Open 14:15 / 14:30 Pre-Show Talk)

出演 Artists

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 Les Volques String Trio

ヴァイオリン オード・ペラン＝デュロー
 Violin Aude PÉRIN-DUREAU



ヴィオラ キャロル・ロト＝ドファン
 Viola Carole ROTH-DAUPHIN



チェロ ロビン・マイケル
 Cello Robin MICHAEL



東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー Tokyo Bunka Kaikan Chamber Orchestra Members



ピアノ
 大崎由貴*
 Piano
 OSAKI Yuki*



ヴァイオリン
 依田真宣*
 Violin
 YODA Masanobu*



チェロ
 上村文乃*
 Cello
 KAMIMURA Ayano*



コントラバス
 白井菜々子*
 Double bass
 SHIRAI Nanako*



クラリネット
 アレッサンドロ・ベヴェラリ*
 Clarinet
 Alessandro BEVERARI*



ファゴット
 鈴木一成*
 Bassoon
 SUZUKI Kazunari*



ホルン
 濱地 宗*
 Horn
 HAMAJI Kaname*



プレトーク 沼野雄司 (音楽学者)

Pre-Show Talk NUMANO Yuji (Musicologist)

曲目 Program

ヘルムート・ラッヘンマン ... アレグロ・ソステヌート クラリネット、チェロとピアノのための (1986-88)	Helmut LACHENMANN ... Allegro Sostenuto (1986-88)
ヘルムート・ラッヘンマン ... 弦楽三重奏曲第2番「我が告別」 (1965)	Helmut LACHENMANN ... String Trio No.2 "Mes Adieux" (1965)
シューベルト 八重奏曲 へ長調 D803	SCHUBERT Octet in F major, D803 (with modern instruments)

*曲順は変更になる場合がございます。 * The performance order is subject to change.

*ピリオド楽器による演奏はありません。 * All music pieces are played with modern instruments.

IRCAMシネマ「狂った一頁」

～ポンピドゥー・センターと歴史的無声映画のコラボレーション～

Performing Arts Creation Project

IRCAM Cinema *Une page folle*

—The Collaboration of Centre Pompidou and Silent Era Films

11.29[金] 15:00開演 (14:30開場) / 19:00開演 (18:30開場)
Fri, Nov 29, 15:00 (Open 14:30) / 19:00 (Open 18:30)衣笠貞之助監督による幻の無声映画「狂った一頁」(1926年)を、
世界最高峰の音響音楽研究施設IRCAM (イルカム)において
作曲家平野真由がクリエイションした電子音楽とともに上映します。

[上映映画]「狂った一頁」(1926年)

監督 | 衣笠貞之助

原作 | 川端康成

脚本 | 川端康成、衣笠貞之助、犬塚 稔、沢田晩紅

作曲 | 平野真由 (2021年IRCAM、ポンピドゥー・センター委嘱作品)

コンピュータ・ミュージック・デザイン (IRCAM) |

ディオニシオス・パパニコラウ

制作 | IRCAM、ポンピドゥー・センター (2021)

※フィルムはポンピドゥー・センター日本友の会より寄贈

サウンド・エンジニア | 片桐健順

Film to be screened *Une page folle* (1926)

Directed by: KINUGASA Teinosuke

Original Story: KAWABATA Yasunari

Screenplay: KAWABATA Yasunari, KINUGASA Teinosuke,
INUZUKA Minoru, SAWADA Banko

Music: HIRANO Mayu

(IRCAM and Centre Pompidou Commission, 2021)

Computer Music Design (IRCAM):

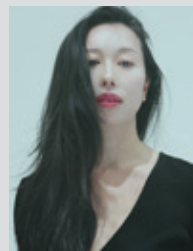
Dionysios PAPANICOLAOU

Production: IRCAM, Centre Pompidou (2021)

* The film was donated from

Société d'Amis Japonais du Centre Pompidou.

Sound Engineer: KATAGIRI Takenori

作曲
平野真由Music
HIRANO Mayu

Teinosuke Kinugasa, A Page of Madness, 1926 (restored version), film 35mm, black and white, silent, 67 min., Donated by Society of Japanese Friends of Centre Pompidou, 2019 (Photographs) © right reserved © photo : Centre Pompidou, MNAM-CCI/Hervé Véronèse/Dist. RMN-GP

トークイベント Talk Event 17:30 より

出演 | 平野真由 (作曲家) モデレーター | 沼野雄司 (音楽学者) ※「狂った一頁」のチケットをお持ちの方が入場可能です。

Talk & Lesson

フェスティヴァル・
ランタンポレルトークセッション

Talk & Lesson

Festival de l'Intemporel Panel

11.30[土] 14:00開演 (13:30開場)
Sat, Nov 30, 14:00 (Open 13:30)

*日本語通訳付 * The panel is conducted in Japanese and French. French to Japanese interpretation is provided.

本フェスティヴァル立ち上げのキーパーソンが、今回のプログラムについてトークを展開します。

また、マスタークラスでフィリップ・マヌリの指導を受けた奏者による演奏を予定しています。(詳細は後日発表)

登壇者

フィリップ・マヌリ (作曲家)

キャロル・ロト=ドファン (レ・ヴォルク音楽祭芸術監督)

野平一郎 (東京文化会館音楽監督)

モデレーター

沼野雄司 (音楽学者)

Panelists

Philippe MANOURY (Composer)

Carole ROTH-DAUPHIN (Artistic Director of Festival les Volques)

NODAIRA Ichiro (Music Director of Tokyo Bunka Kaikan)

Moderator

NUMANO Yuji (Musicologist)

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

レ・ヴォルク弦楽三重奏団による
マスタークラス (非公開)

フィリップ・マヌリによるマスタークラス (非公開)

Support for Emerging Musicians Global Career Development

Masterclass with Les Volques String Trio (closed to the public)

Masterclass with Philippe MANOURY (closed to the public)

11.28[木] Thu, Nov 28

募集要項・応募についてはWEBをご覧ください
t-bunka.jp/info/23907/

IRCAM (イルカム) とは



フランス国立音響音楽研究所

Institut de Recherche et Coordination Acoustique/Musique

パリにある総合文化施設、ポンピドゥー・センターの関連組織として1977年に設立された、音楽表現と科学研究に特化した世界最大級の公的研究機関です。当時の仏大統領ジョルジュ・ポンピドゥーに招かれたピエール・ブレーズによって創設されました。

IRCAM (イルカム) は芸術的感性と科学的イノベーションが出合う場として、創造・研究・伝播という3本の柱を軸に活動を展開しています。その内容は、音響技術・情報処理に関わる研究や、テクノロジーを活用した音楽・映像制作、またアーティストによる創作活動の教育・支援、発表機会の提供など多岐にわたっています。

レ・ヴォルク音楽祭 Festival Les Volques

南仏のニームで毎年行われている音楽祭。

2020年に始まり、この24年で第5回を迎える。1人の現代作曲家に焦点を合わせ、その作曲家が影響を受けた過去の著名な

作曲家と組み合わせ、その2人の作品のみでプログラムを構成する。音楽監督はオーケストラ「レ・シエクル」のヴァイオラ奏者のキャロル・ロト=ドファンで、音楽祭の多くの演奏家たちがこのオーケストラ団員であるところから、しばしば古典音楽の演奏にはビリオド楽器が使われる。レ・ヴォルク弦楽三重奏団はこの音楽祭の核となっているメンバーで、ヴァイオリンのオード・ペラン=デュロー、ヴァイオラのキャロル・ロト=ドファン、チェロのロビン・マイケルから成る。三重奏団としては初来日となる。(野平一郎)



スケジュール・料金 SCHEDULE & TICKETS

フェスティバル・セット券 Festival Package

一般 | 16,500円 25歳以下 | 5,500円

11/28のマスタークラスを除く6公演にご入場いただけます(11/27・12/1はS席)。

Regular 16,500yen Under-26s 5,500yen This package includes admission for 6 events, excluding the masterclass.
(The seat category is S for Nov 27 and Dec 1 performances.) * The package is not available at our online English ticketing service.

セット券購入者特典 セット券をご購入いただいたお客様の中から、抽選であたる素敵なプレゼント(お食事券等)をご用意しております。詳細は追って、お知らせします。

Giveaways for the festival package: Those who buy the festival package and win the draw will receive special prizes, including restaurant vouchers. More details to come.

1回券 Single Ticket

11/27
水 WED

プラチナ・シリーズ第2回

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 et 上野由恵 (フルート)

19:00 開演 S席 4,400円 | A席 3,300円 | B席 2,200円 | 25歳以下 (全席共通) 1,100円

Les Volques String Trio et UENO Yoshie (Flute) S 4,400yen | A 3,300yen | B 2,200yen | Under-26s 1,100yen (The price applies to all seat categories.)

11/28
木 THU

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

レ・ヴォルク弦楽三重奏団によるマスタークラス (非公開) / フィリップ・マヌリによるマスタークラス (非公開)

シャイニング・シリーズVol.16

阪田知樹ピアノ・リサイタル

19:00 開演 (予定公演時間: 約75分) 指定 3,300円 | 25歳以下 1,100円

SAKATA Tomoki Piano Recital Reserved Seats 3,300yen | Under-26s 1,100yen

11/29
金 FRI

舞台芸術創造事業

IRCAMシネマ「狂った一頁」～ポンピドゥー・センターと歴史的無声映画のコラボレーション～

15:00/19:00 開演 (17:30よりトークイベントあり) 自由 1,100円

IRCAM Cinema Une page folle General Admission 1,100yen

11/30
土 SAT

Talk & Lesson

フェスティバル・ランタンポレルトークセッション

14:00 開演 指定 1,650円 | 25歳以下 1,100円

Festival de l'Intemporel Panel Reserved Seats 1,650yen | Under-26s 1,100yen

シャイニング・シリーズVol.17

務川慧悟ピアノ・リサイタル

19:00 開演 (予定公演時間: 約75分) 指定 3,300円 | 25歳以下 1,100円

MUKAWA Keigo Piano Recital Reserved Seats 3,300yen | Under-26s 1,100yen

12/1
日 SUN

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

レ・ヴォルク弦楽三重奏団 & 東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー

15:00 開演 (14:30 プレトーク) S席 4,400円 | A席 3,300円 | B席 2,200円 | 25歳以下 (全席共通) 1,100円

Les Volques String Trio & Tokyo Bunka Kaikan Chamber Orchestra Members

S 4,400yen | A 3,300yen | B 2,200yen | Under-26s 1,100yen (The price applies to all seat categories.)

チケット TICKETS

発売日 On sale date

フェスティバル・セット券 Festival Package

2024年7月20日[土] Sat, Jul 20, 2024

1回券 Single Ticket

2024年7月27日[土] Sat, Jul 27, 2024

お申込み Buy Tickets

東京文化会館チケットサービス | 03-5685-0650 t-bunka.jp

Tokyo Bunka Kaikan Box Office (Available in English)

チケットぴあ | t.pia.jp イープラス | eplus.jp/t-bunka/

※セット券・B席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。

※25歳以下席をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(要予約・有料・定員あり・締切あり)があります。イベント託児・マザーズ: 0120-788-222



主催 | 東京都 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ

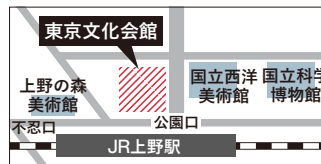
公益財団法人日仏会館

協力 | l'intemporel (ランタンポレル)

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))
独立行政法人日本芸術文化振興会



アクセス Access



東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan
〒110-8716
東京都台東区上野公園5-45
Tokyo 110-8716 Japan
X @tbunka_official